

日本畜産学会第134回大会

公開シンポジウム

日本の食文化を 世界へ、そして未来へ

～飼料生産から食卓まで、
和牛ブランドを支える技術革新～

開催趣旨

近年、畜産業では、資源価格の高騰、環境負荷の低減、国際競争への対応が求められており、持続的な発展には生産効率の向上と高付加価値化の両立が不可欠です。

本シンポジウムでは、「持続可能な畜産」「ブランド戦略」「技術革新」をキーワードに、飼料生産から消費までを俯瞰し、和牛ブランドを支える技術と将来展望について議論するとともに、生産者、研究者、関連産業が連携して持続可能な畜産の未来像を共有する機会としたいと思います。

日時

2026年9月17日(木)
14:30～17:30

場所

宮崎大学農学部講義棟 L204教室
(第IV会場)

※オンラインとのハイブリッド開催

参加費

無料

どなたでも
ご参加
いただけます

次第

司会：井戸田 幸子（宮崎大学農学部教授）

14:30-14:35 開会の挨拶 菊地 和弘（日本学術会議第二部連携会員／公益社団法人日本畜産学会理事長／北里大学獣医学部教授）

第1部：飼料利用性：持続可能な和牛生産を目指して

座長：西村 慶子（宮崎大学農学部准教授）

14:35-15:00 「あなたの研究はどこで生きるか：畜産分野の政策課題と研究資金」 西尾 元秀（農林水産省技術会議事務局・畜産局畜産振興課 研究専門官）

15:00-15:35 「肉用牛の飼料利用性改良をめぐる研究動向と今後の展開」 竹田 将悠規（東北大学大学院農学研究科・農学部助教）

15:35-16:10 「飼料資源の有効活用による持続可能な和牛生産」 神谷 充（農研機構 畜産研究部門 那須塩原研究拠点 牛精密管理研究領域 牛栄養代謝グループ上級研究員）

16:10-16:20 休憩

第2部：和牛の国際展開：世界市場に挑む日本の畜産

座長：河原 聡（宮崎大学農学部教授）

16:20-16:45 「県産牛肉の販路拡大に向けた取組」 西 洋平（宮崎県農政水産部 畜産局畜産振興課 肉用牛振興担当主査）

16:45-17:20 「枝肉画像解析による和牛肉質評価の高度化とブランド価値創出」 口田 圭吾（帯広畜産大学畜産学部教授）

17:20 閉会の挨拶 木村 直子（日本学術会議第二部会員／山形大学大学院農学研究科教授／岩手大学大学院連合農学研究科教授）

申込方法 オンライン参加申し込みはこちら

QRコードか下記URLからお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/FwNM0M5yPN>

オンライン参加申し込み期限：9月11日（金）



主催

公益社団法人日本畜産学会、
日本学術会議食料科学委員会畜産学分会

協賛

公益財団法人伊藤記念財団